

総務

『今年度予算』 合併以来最大に



総務常任委員長
森 治史

★携帯電話整備事業費

大方地域の本谷と伴太郎地区の工事費用です。この工事で携帯電話不感知地域は全て解消されます。

3481万円

★庁舎建設費の基本設計委託費

平成24年度の計画に基づいて25年度中に庁舎、防災拠点の設計費です。

1386万円

新庁舎の完成は、平成28年度の予定です。

★避難道等整備工事費

町内65カ所の避難道等を予定しています。道路整備用地は基本的には無償提供なので、仲介者2名を考えています。

5億9千万円

○歳出の主なもの

★情報通信費保守料

庁舎内のコンピュータシステムの保守料

2500万円

●25年度情報センター事業特別会計

1億6千万円

産業建設

『新産業創造事業』 ビジネスの可能性を探る



産業建設常任委員長
矢野 昭三

●鳥獣被害対策実施隊誕生

鳥獣の被害が年々増大し、営農意欲の減退や耕作放棄地の増加をもたらしている。このため、鳥獣被害防止のための特別措置法に基づき、黒潮町鳥獣被害対策実施隊を設置し、被害防止を強化する。隊は4月から発足しその身分は町の非常勤職員となる。

290万円

●新産業創造計画策定始まる

町の産業振興と雇用の創出を目的とした新産業創造計画が町長から提案された。議員協議会で町長自らビジネスの説明をするなど力のこもった姿勢が見えた。

委託先は高知工科大。新産業創造計画策定業務、総合プロデュースや事業全体のコーディネートその他、新商品を作る予定。津波高全国一の町黒潮町で備蓄品として缶詰を作り、ビジネスにつなげる構想。

2270万円

●避難道を整備するため

の10路線を町道に認定
大向浜畑支1号線、ミアゲ線、城山線、スケン谷線、柳の川支1号線、西松崎線、須賀線、シヨウブガ谷線、シヨウブガ谷支1号線、野田の坂線。

●環境ふれあい交流施設

ピオスおおがた(道の駅)の指定管理者決まる

有限会社ピオスに平成25年4月1日から平成30年3月31

